

教員名(Name) : 田地野 彰 (Tajino Akira)

***ゼミタイトル Seminar Title**

言語教育をシステムとして捉える (入門)

***授業概要 Outline of the contents**

みなさんにとって、英語のクラスはどのような場でしょうか。多くの学生にとっては、もちろん英語を学ぶ場だと思います。しかし、ある学生にとっては英語を使う場かもしれませんし、あるいは友人との出会いの場と捉えているかもしれません。

教室には教師がいて、黒板、机と椅子があり、教科書や教材があります。こうした要素をどのようにつなぎ合わせるか。つまり、それぞれの要素の関係性によって、学びの成果は大きく変わってきます。

この授業では、言語教育を「人間活動システム」として捉え、その課題をどのように解決・改善できるかを考えていきます。具体的には、システム思考を用いて、言語教育に関わるさまざまな問題を複眼的思考により分析し、よりよい方法を探っていきます。

カリキュラムや教材、教授法など、言語教育の主要なテーマを大局的な視点から理解し、問題点を整理したうえで、今後の改善に向けた方策を考察していきたいと思います。

具体的には、次のような課題を扱う予定です。

- ・システム思考とは？
- ・カリキュラム開発
- ・教材開発
- ・教授と学習
- ・学術的言語技能
- ・協調と協働
- ・授業研究

なお、言語教育そのものに特別な関心がなくても大丈夫です。物事をシステムとして捉える視点は、言語教育に限らず、さまざまな分野に応用できます。こうしたミカタを身につけることは、きっとみなさんの将来をより豊かにしてくれることでしょう。

***授業の形式 How the class is conducted**

講義と演習（発表・討論等）を組み合わせで行います。

***課題・成績評価基準 Requirements and Assessment**

成績評価は，課題の成績と授業での取り組み状況（参加・貢献度など）を総合的に判断して行います。

***その他 Others**

常識にとらわれない柔軟な発想を楽しみたいと思います。